

ホンゴウソウ

Sciaphila japonica Makino

ホンゴウソウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

稀産の植物で、県内の産地が極めて限られている。(現況:RO)

形態

草丈3～10数cm、茎径0.5mm以下の腐生植物で緑葉がなく、地下には白色の根茎があり、そこから出る根には、共生菌の菌糸が入っている。葉は鱗片状で長さ1.5mm程度、茎とともに紫褐色である。総状花序は数個～十数個の花よりなり、上部は雄花、下部は雌花が着く。雄花の花被は6裂し、うち3個は小さく、残りの3個は大きい。雄蕊は3個で、葯隔から針状の付属突起が出る。雌花の花被も6裂し、雌蕊は多数で離生、各心皮に1個の種子ができる。

国内分布

本州中部以南、四国、九州、琉球に分布。

県内分布

加賀中央区および南加賀区。現在知られている県内の産地は2箇所。今回は南加賀区で確認された。

生態など

開花期は7～10月。

生育環境

暗い林床の落葉の間に生育する。

危険要因

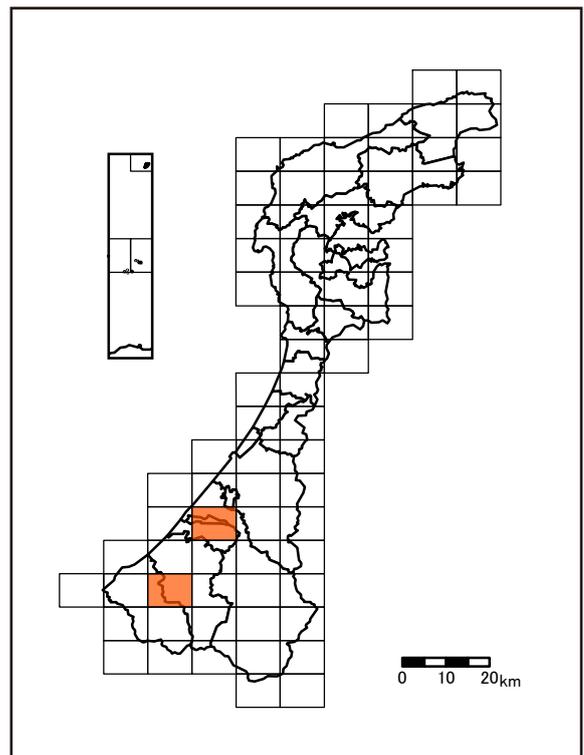
森林伐採、土地造成、道路工事。

特記事項

1994年に県内での分布が確認された。



本多郁夫・2008年8月18日・加賀市



県内の分布